

カーフサービス この冬の取り組み

カーフサービスでは新築哺乳ロボット牛舎だけではなく、タイストール牛舎を改造し、子牛を1頭ずつ分けて飼うカーフストール牛舎もあります。換気は陽圧換気システムを採用しています（下の写真の中央上部を通る白いダクト）。陽圧換気システムとは、ファンから送られた牛舎外部の新鮮な空気をダクトを通して子牛の鼻先まで送り込むシステムです。トンネル換気のようにさまざまな障害物による換気不良箇所や、風上と風下での空気の質の違い等の問題を解決し、且つ子牛に直接風を感じないような微風で新鮮空気を送り込むことができるシステムです。

しかし昨年春の調査で、この陽圧換気が上手く機能していないことがわかりました。中古牛舎に導入したことで、いろいろと障害物が多く、ダクトからの空気が子牛まで届いていないことが原因でした。そこで直接子牛の真上にダクトを這わして確実に子牛へと空気を届けるべく改造をおこないました。

中央の上にあるのがダクト。左右のカーフストールに新鮮な外気を送り込む（矢印）。しかし柱や梁などの障害物が・・・。

そこでファンの近くから二股管で2系統に分岐させて、子牛の真上に直接ダクトを這わすように改造。



カーフハッチの真上にある緑のダクトが新しい陽圧換気ダクト（矢印）。



子牛の上にあるダクトから新鮮な外気がストール内に送り込まれる。24時間どんなに寒い夜でも動かししています。



また離乳後の育成舎では、換気対策として夏季の暑熱対策用の天井吊り下げファンを常時回すことにしました（インバーターで20%ほどに回転を落としています。）これもどんなに寒い夜も常に回しています。

この取り組みは昨年の9月から始めました。

そして今までの数か月間、**肺炎や風邪らしき症例は昨年に比べて激減**、ほぼゼロとなりました。

今までお客さんの酪農家さんに対して換気の重要性を伝えてきてはいたのですが、これまでインパクトのあることだとは正直思っていませんでした（お恥ずかしながら・・・）。

お客さんからよく寄せられる質問

「冬期間の子牛にとって保温と換気どちらが重要か？」

換気です！保温はジャケットか電気でおこなうべきです！